

精神疾患とその治療

問題 1 次のうち、摂食、体温、情動の調節に関わっている中枢神経の部位として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 橋
- 2 中脳
- 3 小脳
- 4 視床
- 5 視床下部

問題 2 Aさん(68歳, 男性)は脳梗塞の既往がある。日常生活は支障なく、自立していた。慢性腎不全の治療で入院中、3日前から38℃の発熱があり昨夜に解熱鎮痛薬を服用したところ、出勤すると言って深夜に着替えて出掛けようとした。今朝は傾眠状態である。

次のうち、この患者に疑われる疾患又は病態として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 急性ストレス反応(急性ストレス障害)
- 2 身体症状症(身体表現性障害)
- 3 統合失調症
- 4 せん妄
- 5 アルツハイマー型認知症

問題 3 次のうち、境界性パーソナリティ障害の特徴として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 良心の呵責かしやくの欠如
- 2 自分が重要であるという誇大な感覚
- 3 他人の感情への冷淡で無関心な行動
- 4 疑い深く、人に恨みを持ち続ける傾向
- 5 見捨てられることを避けようとするなりふり構わない努力

問題 4 次のうち、うつ病でみられることがある症状として、適切なものを2つ選びなさい。

- 1 過眠
- 2 せん妄
- 3 誇大妄想
- 4 食欲亢進こうしん
- 5 知能低下

問題 5 次の記述のうち、注意欠如・多動症(ADHD)の不注意の症状として、正しいものを2つ選びなさい。

- 1 シャベリすぎる。
- 2 日々の活動で忘れっぽい。
- 3 自分の順番を待つことが困難である。
- 4 課題や活動を順序立てることが困難である。
- 5 不適切な状況で走り回ったり高い所へ登ったりする。

問題 6 次の記述のうち、認知症患者に用いられるドネペジル塩酸塩について、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 効能は認知機能の回復である。
- 2 血管性認知症に適応がある。
- 3 心疾患には特に注意が必要である。
- 4 服薬を中止すると強い離脱症状を認める。
- 5 神経伝達物質であるアセチルコリンの分解を促進する。

問題 7 次のうち、森田療法で用いられる理論や技法として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 転移
- 2 絶対臥褥がじょく
- 3 フラッディング
- 4 古典的条件づけ
- 5 カタルシス効果

問題 8 次の記述のうち、精神科を主たる診療科名として標榜ひょうぼうする診療所について、正しいものを2つ選びなさい。

- 1 在宅医療を提供できる。
- 2 開設者には精神保健指定医の資格が必須である。
- 3 自立支援医療(精神通院医療)を利用できる。
- 4 精神保健福祉士の勤務が必須である。
- 5 「医療施設(静態・動態)調査」(厚生労働省)によると、2011年(平成23年)以降、診療所数が著しく減少している。

問題 9 次のうち、精神保健指定医の診察の結果、応急入院が妥当と考えられる患者として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 自ら治療を求めて来院した不安障害の患者
- 2 妻が付き添って来院した振戦せん妄の患者
- 3 身元の全く分からない不穏で独語のある患者
- 4 家族に対して易怒的で、長男に連れてこられた前頭側頭型認知症の患者
- 5 幻覚・妄想が強く自傷他害のおそれのある統合失調症の患者

問題 10 次の記述のうち、精神障害者の入院形態として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 任意入院では、48時間に限り退院制限を行うことができる。
- 2 医療保護入院では、家族等の同意により本人を入院させることができる。
- 3 措置入院は、家庭裁判所の権限による入院形態である。
- 4 緊急措置入院は、夜間に限って行われる。
- 5 「医療観察法」による鑑定入院は、都道府県知事の権限による入院である。

(注) 「医療観察法」とは、「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律」のことである。